

2024/7～2024/9 にっしん景況レポート

Vol.
34
2024/10



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2024年7～9月の景気の現状と2024年10～12月の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。
対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

- 調査対象期間 : 2024年7～9月の実績(9月については予想)
2024年10～12月の見通し
- 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
- 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の360社
- 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
- 期間について : 今期 = 2024年7～9月
前期 = 2024年4～6月
前年同期 = 2023年7～9月
来期 = 2024年10～12月
- 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	151	49	22	17	24	19	20
三木地区	55	17	11	6	8	9	4
神戸地区	154	24	24	17	40	26	23
業種合計	360	90	57	40	72	54	47

● 今期の景況

今期(2024年7月～9月)は景気判断の目安となる全業種における業況判断D.I.が▲11.1となり、前期(2024年4月～6月)に比べ1.1ポイント悪化した。売上額判断D.I.は2.2となり、前期と比べて2.5ポイント悪化した。収益判断D.I.は0.0となり、前期と比べて1.1ポイント悪化した。

● 来期の見通し

来期(2024年10月～12月)の予想業況判断D.I.は▲2.5となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。

〈「御社の業況」回答数〉

	良 い	やや良い	普 通	やや悪い	悪 い	合 計
回 答 数	14	54	184	90	18	360
回 答 割 合	3.9%	15.0 %	51.1 %	25.0 %	5.0 %	100 %

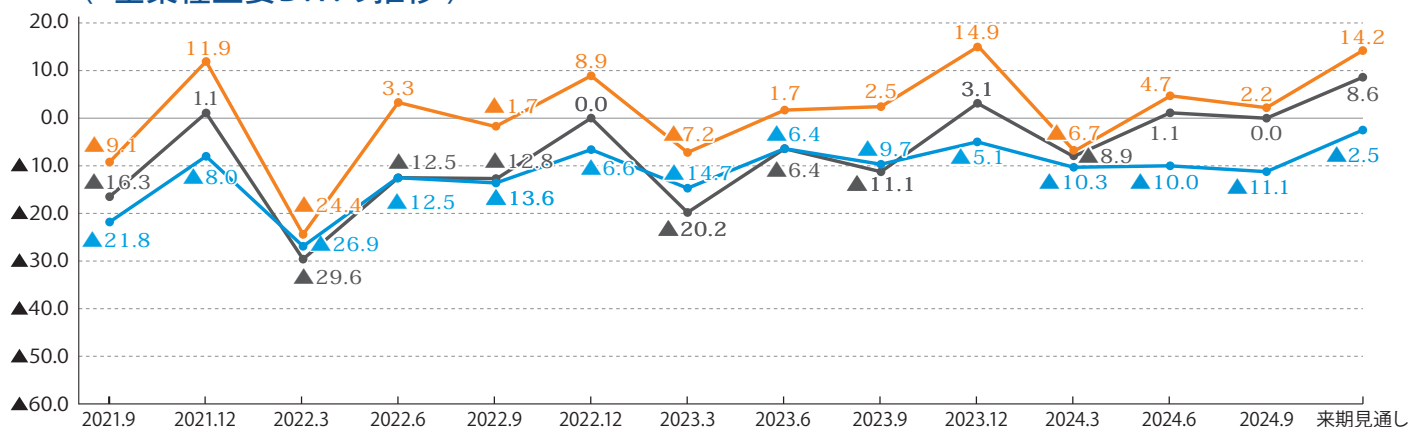
〈2024年7～9月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	▲ 4.6	▲ 16.3	▲ 18.2	▲ 5.9	0.0	21.1	10.0
三木地区	▲ 30.9	▲ 35.3	▲ 36.4	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 33.3	0.0
神戸地区	▲ 0.4	▲ 12.5	▲ 20.8	▲ 11.8	▲ 17.5	3.8	0.0
全地区	▲ 11.1	▲ 18.9	▲ 22.8	▲ 12.5	▲ 12.5	3.7	4.3

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況 (実 績)	▲ 10.0	▲ 11.1	▲ 2.5	販売価格(前期比)	21.2	16.7	18.1
売 上 額 (前 期 比)	4.7	2.2	14.2	仕入価格(前期比)	49.3	50.4	44.6
売上額(前年同期比)	5.9	8.1	—	資金繰り(楽－苦)	▲ 10.9	▲ 10.8	▲ 11.4
収 益 (前 期 比)	1.1	0.0	8.6	人手不足(過剰－不足)	▲ 34.5	▲ 35.0	▲ 38.2
収 益 (前年同期比)	3.9	1.9	—				

〈「全業種主要D.I.の推移」



● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲18.9となり、前期実績と比して2.2ポイント改善した。

売上額判断D.I.は3.3、収益判断D.I.は▲1.1となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は16.6ポイント改善、収益判断D.I.は4.5ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は2.2、収益判断D.I.の前年同期比は▲4.4となり、昨年の同じ時期に比べ売上額は増加し、収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲1.1となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は25.6、予想収益判断D.I.は14.4となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況 (実 績)	▲ 21.1	▲ 18.9	▲ 1.1	販売価格 (前期比)	16.7	6.7	17.8
売 上 額 (前 期 比)	▲ 13.3	3.3	25.6	仕入価格 (前期比)	48.9	50.0	40.0
売上額 (前年同期比)	▲ 11.2	2.2	—	資金繰り (楽－苦)	▲ 6.7	▲ 8.9	▲ 4.4
収 益 (前 期 比)	▲ 5.6	▲ 1.1	14.4	人手不足 (過剰－不足)	▲ 28.9	▲ 31.1	▲ 34.4
収 益 (前年同期比)	▲ 6.7	▲ 4.4	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲22.8となり、前期実績と比して8.8ポイント低下した。

売上額判断D.I.は▲1.8、収益判断D.I.は▲12.3となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は14.3ポイント、収益判断D.I.は15.9ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は7.0、収益判断D.I.の前年同期比は7.0となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲15.8と、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は15.8、予想収益判断D.I.は7.0となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況 (実 績)	▲ 14.0	▲ 22.8	▲ 15.8	販売価格 (前期比)	23.2	28.1	22.8
売 上 額 (前 期 比)	12.5	▲ 1.8	15.8	仕入価格 (前期比)	51.8	49.1	38.6
売上額 (前年同期比)	8.8	7.0	—	資金繰り (楽－苦)	▲ 8.9	▲ 5.3	▲ 17.5
収 益 (前 期 比)	3.6	▲ 12.3	7.0	人手不足 (過剰－不足)	▲ 21.1	▲ 24.6	▲ 31.6
収 益 (前年同期比)	▲ 3.5	7.0	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲12.5となり、前期実績と比して13.1ポイント改善した。

売上額判断D.I.は7.5、収益判断D.I.は0.0となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は2.8ポイント低下、収益判断D.I.は7.7ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は7.5、収益判断D.I.の前年同期比は▲2.5となり、昨年の同じ時期に比べ売上額は増加したものの、収益は低下したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は5.0となり、業況は上向くと回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は20.0、予想収益判断D.I.は10.0となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況 (実 績)	▲ 25.6	▲ 12.5	5.0	販売価格 (前期比)	28.2	32.5	37.5
売 上 額 (前 期 比)	10.3	7.5	20.0	仕 入 価 格 (前 期 比)	53.8	57.5	57.5
売上額 (前年同期比)	5.1	7.5	—	資 金 繰 り (楽－苦)	▲ 30.8	▲ 37.5	▲ 35.0
収 益 (前 期 比)	▲ 7.7	0.0	10.0	人手不足(過剰－不足)	▲ 28.2	▲ 30.0	▲ 35.9
収 益 (前年同期比)	0.0	▲ 2.5	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲12.5となり、前期実績と比して6.9ポイント低下した。

売上額判断D.I.は4.2、収益判断D.I.は1.4となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は12.5ポイント、収益判断D.I.は11.1ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は20.8、収益判断D.I.の前年同期比は5.6となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲9.7となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は11.1、予想収益判断D.I.は6.9となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業 況 (実 績)	▲ 5.6	▲ 12.5	▲ 9.7	販売価格 (前期比)	26.4	13.9	12.5
売 上 額 (前 期 比)	16.7	4.2	11.1	仕 入 価 格 (前 期 比)	47.2	48.6	47.2
売上額 (前年同期比)	18.1	20.8	—	資 金 繰 り (楽－苦)	▲ 16.7	▲ 13.9	▲ 9.7
収 益 (前 期 比)	12.5	1.4	6.9	人手不足(過剰－不足)	▲ 50.0	▲ 43.1	▲ 47.2
収 益 (前年同期比)	15.3	5.6	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は3.7となり、前期実績と比して3.7ポイント増加した。

売上額判断D.I.が▲3.7、収益判断D.I.が▲1.9となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は9.3ポイント低下、収益判断D.I.は5.5ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は1.9、収益判断D.I.の前年同期比は▲1.9となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加し、収益は低下したと回答した企業の割合が多かった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は0.0となり、業況は変わらないと回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は▲3.7、予想収益判断D.I.は▲1.9となり、売上額および収益は減少する見通しである企業の割合が多かった。

〈建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	0.0	3.7	0.0	販売価格(前期比)	3.7	14.8	7.4
売上額(前期比)	5.6	▲ 3.7	▲ 3.7	仕入価格(前期比)	48.1	63.0	57.4
売上額(前年同期比)	11.1	1.9	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 3.7	▲ 3.7	▲ 5.6
収益(前期比)	▲ 7.4	▲ 1.9	▲ 1.9	人手不足(過剰-不足)	▲ 59.3	▲ 61.1	▲ 55.6
収益(前年同期比)	9.3	▲ 1.9	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は4.3となり、前期実績と比して6.3ポイント低下した。

売上額判断D.I.は4.3、収益判断D.I.は17.0となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は2.1ポイント低下、収益判断D.I.は6.4ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は8.5、収益判断D.I.の前年同期比は10.6となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は低下したと回答した企業の割合が多かった。

● 来期の見通し

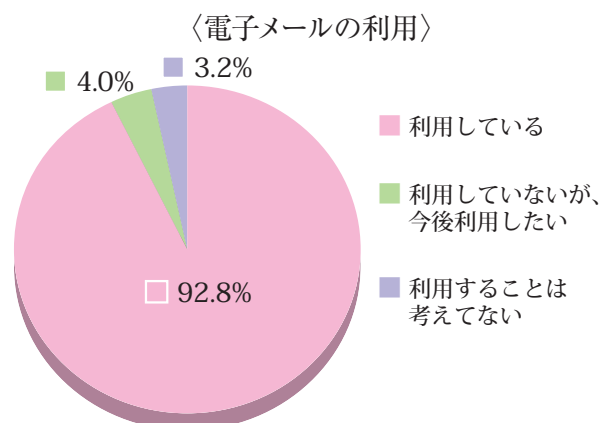
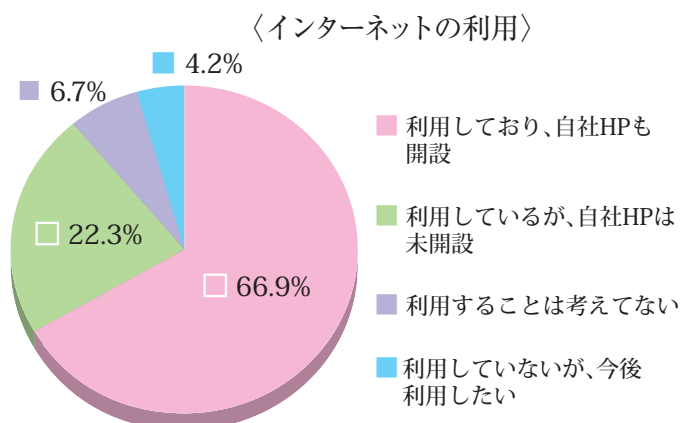
来期の予想業況判断D.I.は12.8となり、業況は上向くと回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は10.6、予想収益判断D.I.は12.8となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	10.6	4.3	12.8	販売価格(前期比)	34.0	14.9	17.0
売上額(前期比)	6.4	4.3	10.6	仕入価格(前期比)	47.8	34.8	30.4
売上額(前年同期比)	10.6	8.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 4.3	▲ 2.1	▲ 6.4
収益(前期比)	10.6	17.0	12.8	人手不足(過剰-不足)	▲ 14.9	▲ 17.0	▲ 21.3
収益(前年同期比)	12.8	10.6	—				

特別調査：「中小企業におけるデジタル化とキャッシュレスへの対応について」

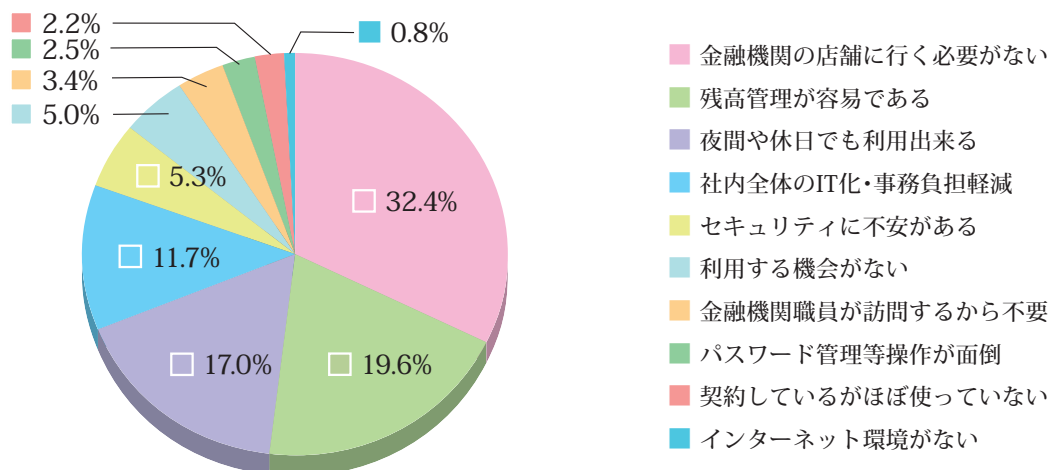
- ～事業上の情報収集・情報発信等において、インターネットを利用していますか、また、同様に事業上で電子メールを利用していますか～



インターネットの利用については、「利用しており、自社HPも開設(66.9%)」の回答数が最も多く、次いで「利用しているが、自社HPは未開設(22.3%)」となった。

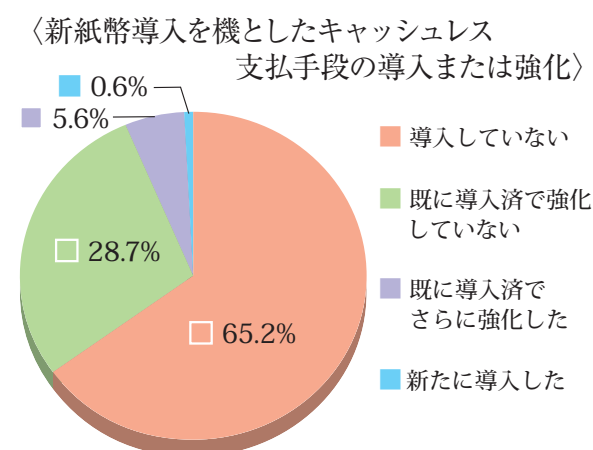
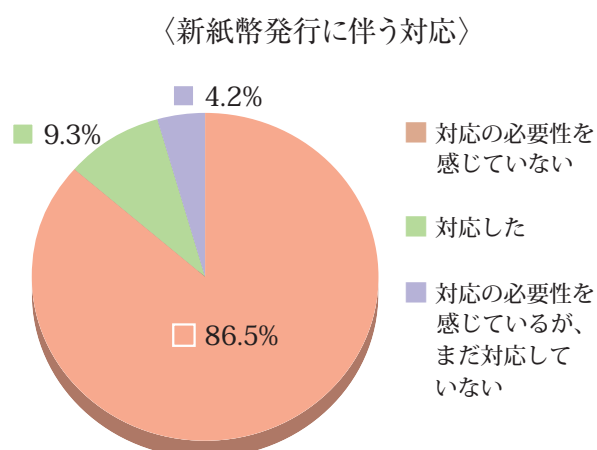
電子メールの利用については、「利用している(92.8%)」の回答数が最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい(4.0%)」となった。

- ～インターネットバンキングを契約していますか、契約している方は契約している主な理由を、契約していない方は契約していない主な理由をお答えください～



インターネットバンキングの契約については、「金融機関の店舗に行く必要がない(32.4%)」の回答数が最も多く、次いで「残高管理が容易である(19.6%)」となった。

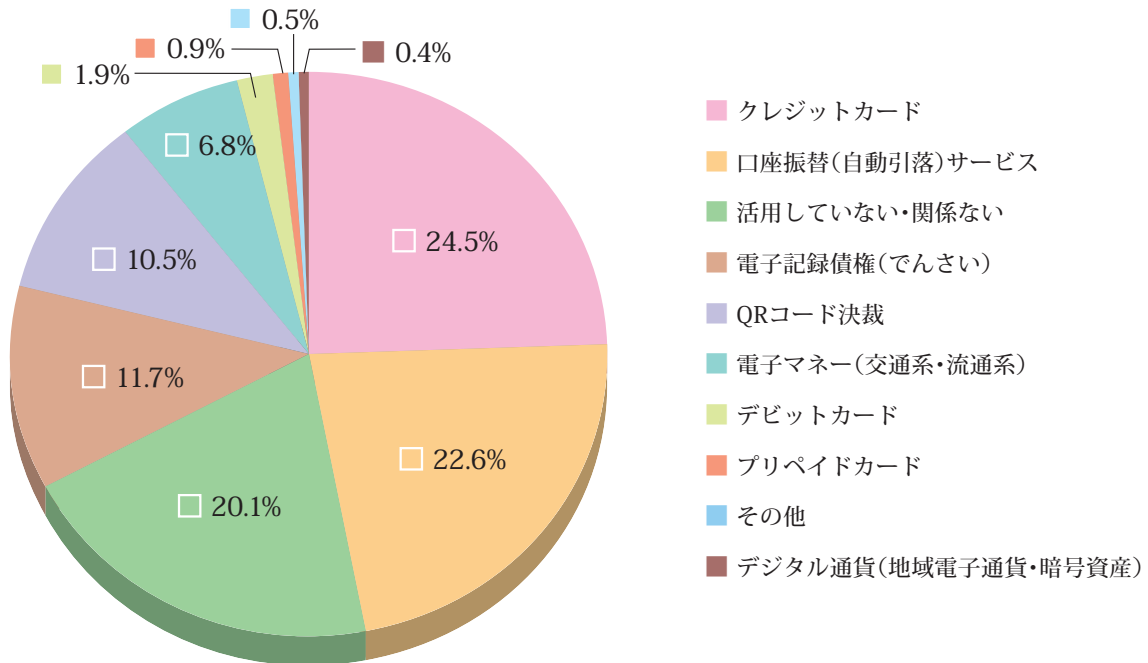
- ～新紙幣の発行に伴い、何らかの対応を実施しましたか、また、新紙幣導入を機にキャッシュレス支払手段の導入または強化をしましたか～



新紙幣発行に伴う対応については、「対応の必要性を感じていない(86.5%)」の回答数が最も多く、次いで「対応した(9.3%)」となった。

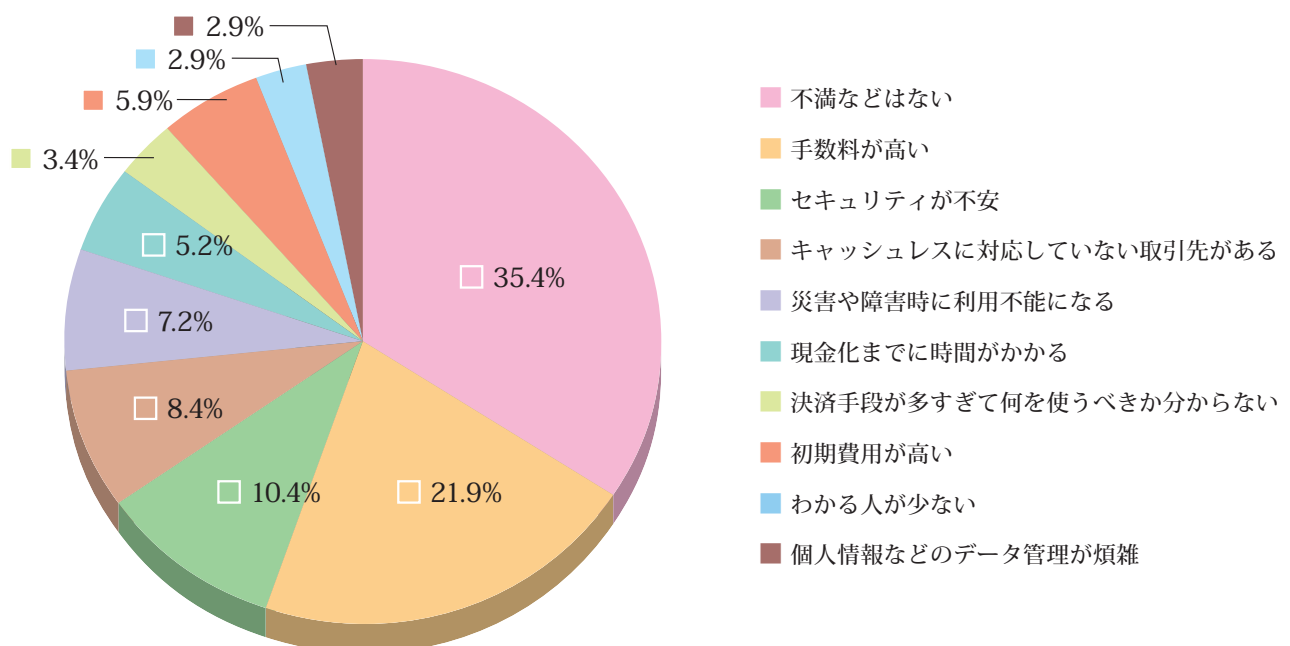
新紙幣導入を機としたキャッシュレス支払手段の導入または強化については、「導入していない(65.2%)」の回答数が最も多く、次いで「既に導入済で強化していない(28.7%)」となった。

● ～現在、どのようなキャッシュレス支払手段を活用していますか～



キャッシュレス支払手段については、「クレジットカード(24.5%)」の回答数が最も多く、次いで「口座振替(自動引落)サービス(22.6%)」となった。

● ～キャッシュレス支払手段について、導入している方は感じている不満を、導入していない方は導入していない理由をお答えください～



キャッシュレス支払手段については、「不満などはない(35.4%)」が最も多く、次いで「手数料が高い(21.9%)」となった。

イベント関連

現在、予定しているイベントは下記のとおりですが、募集状況により受付を終了している場合がございます。

●「オンライン創業相談会」を実施します！

創業をお考えの方や、創業して間もない方々のお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。

- 開催日時：①令和6年11月18日(月)13:00～16:30
②令和6年12月16日(月)13:00～16:30
- 開催方法：オンライン(Zoom)
- 参加費：無料 ●定員：各日程3組(ご相談時間1組60分)

●「事業承継個別相談会」を実施します！

事業承継をお考えの方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点と兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターの専門スタッフが応じます。詳しくはお取引店までお問合せください。

- 開催日時・会場：①令和6年11月14日(木) 13:00～17:15 日新信用金庫 板宿支店
②令和6年12月12日(木) 13:00～17:15 日新信用金庫 神栄支店
- 参加費：無料 ●定員：各日程3社(ご相談時間1組75分)



このたびは、第34回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。



日新信用金庫

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク

0120-15-2489

(受付時間) 平日午前9時から午後5時まで

- 当金庫の情報発信ツールとしてLINE及びInstagramの公式アカウントを発信しております。当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等が発信しますので、下記QRコードからお友だち追加及びフォローをお願いします。



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。